

男女共同参画に関する市民意識調査報告書

— 概要版 —

令和3（2021）年3月

摂津市

- 摂津市では、男女の人権が平等に尊重され、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目的に、平成14（2002）年に「摂津市男女共同参画計画」を策定しました。
- 現在ある「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」が令和3（2021）年度に目標年次を迎えるため、第4期計画策定の基礎資料とするとともに、今後の施策を検討する上での参考とすることを目的として、令和2（2020）年8月に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。
- 調査内容は多岐にわたりますが、結果の一部を紹介いたします。

【調査概要】

調査対象：摂津市に居住する20歳以上の市民

標本抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：配布は郵送方式、回収は郵送方式及びWeb方式（回答者による選択）

調査期間：令和2年（2020年）8月7日（金）～9月7日（月）※期間延長

回収結果：配布数2,000件

有効回収数 464件（うちWebでの回答52件）
女性292件（62.9%）、男性155件（33.4%）
答えたくない/わからない9件（1.9%）

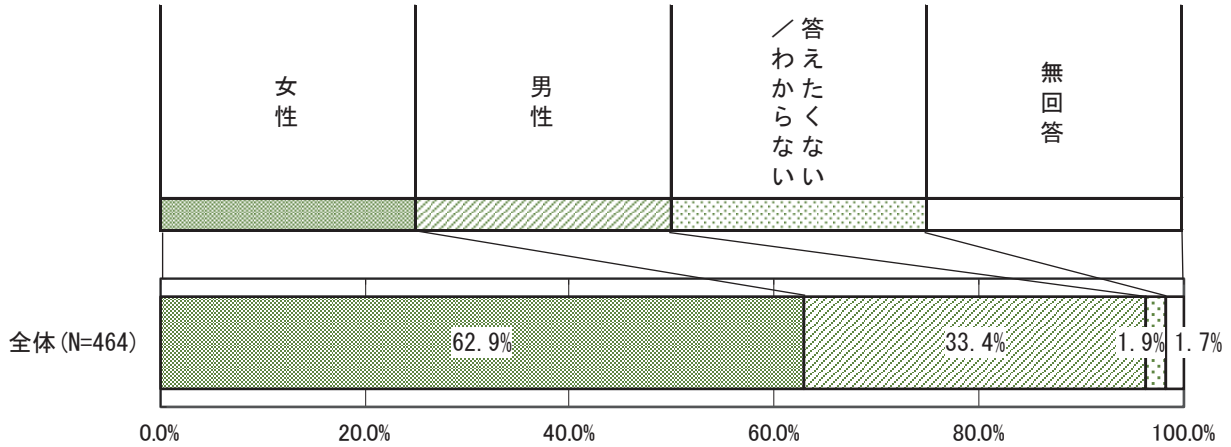
※性別の集計は「女性」または「男性」と回答した方を集計対象としました。

有効回収率 23.2%

回答者の属性

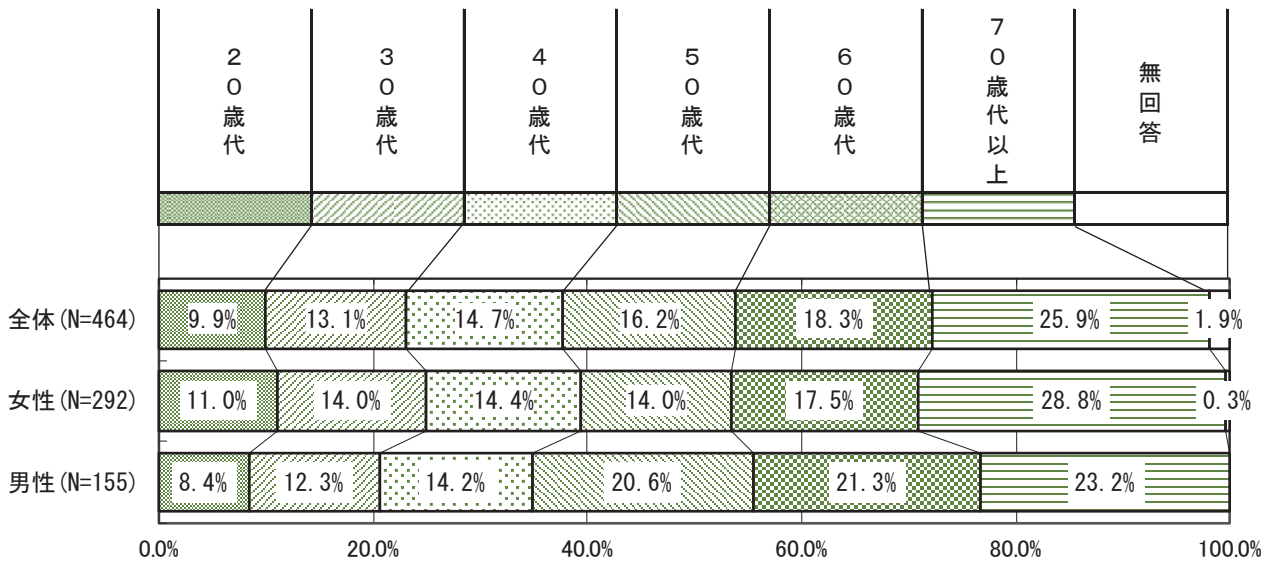
あなたの性別は。(〇は1つ)

- 性別についてみると、「女性」(62.9%)、「男性」(33.4%)となっています。
- 今回新たに「答えたくない／わからない」の項目を追加し、1.9%の方が回答しています。



あなたの年代は。(〇は1つ) * 記入日時点

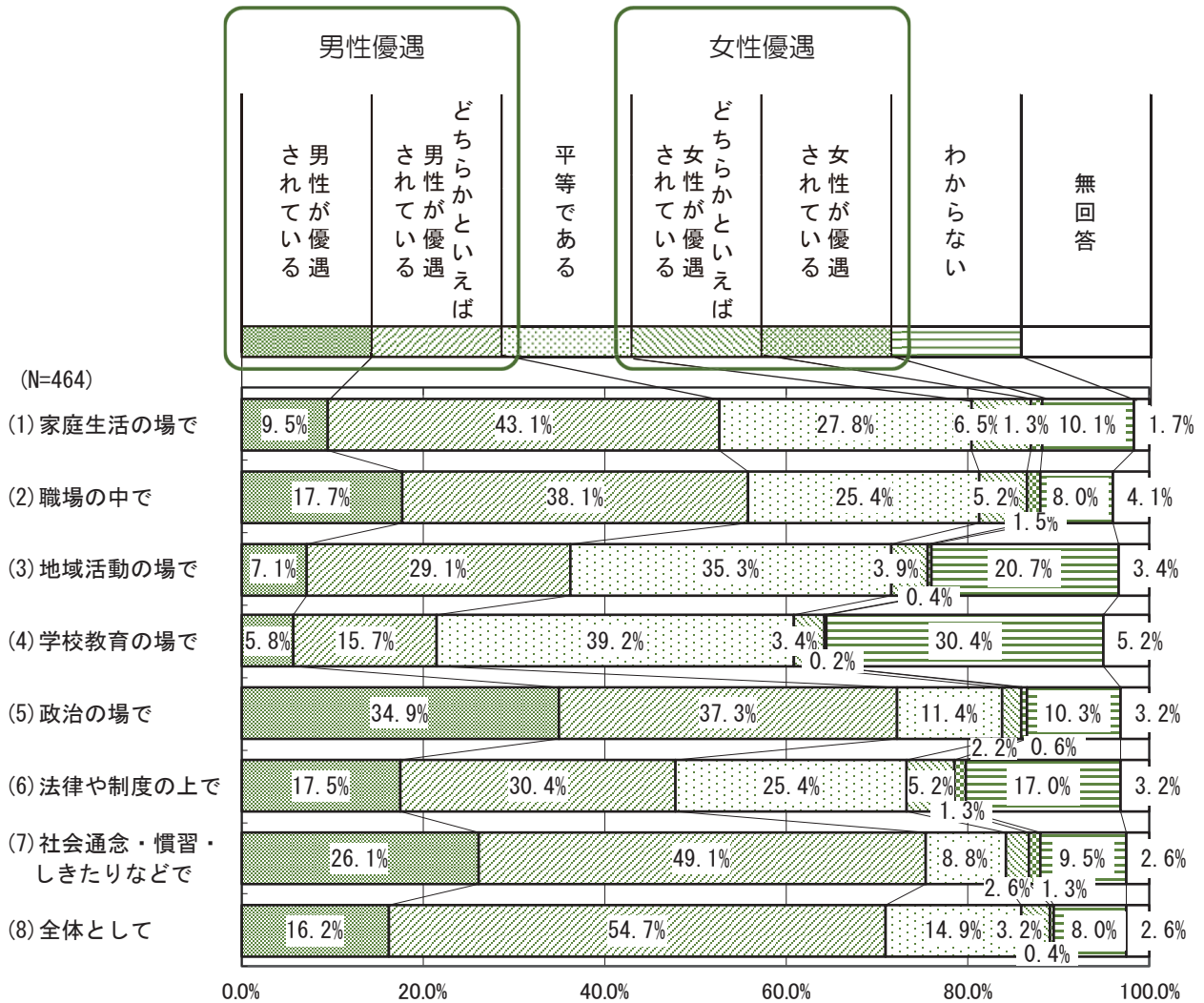
- 年代についてみると、「70歳代以上」(25.9%)が最も多く、次いで「60歳代」(18.3%)、「50歳代」(16.2%)となっています。
- 男女ともに「70歳代以上」が最も多く、また、50歳代以上が60%以上となっています。



男女の地位に関する意識について

あなたは次にあげる各分野において、男女は平等になっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

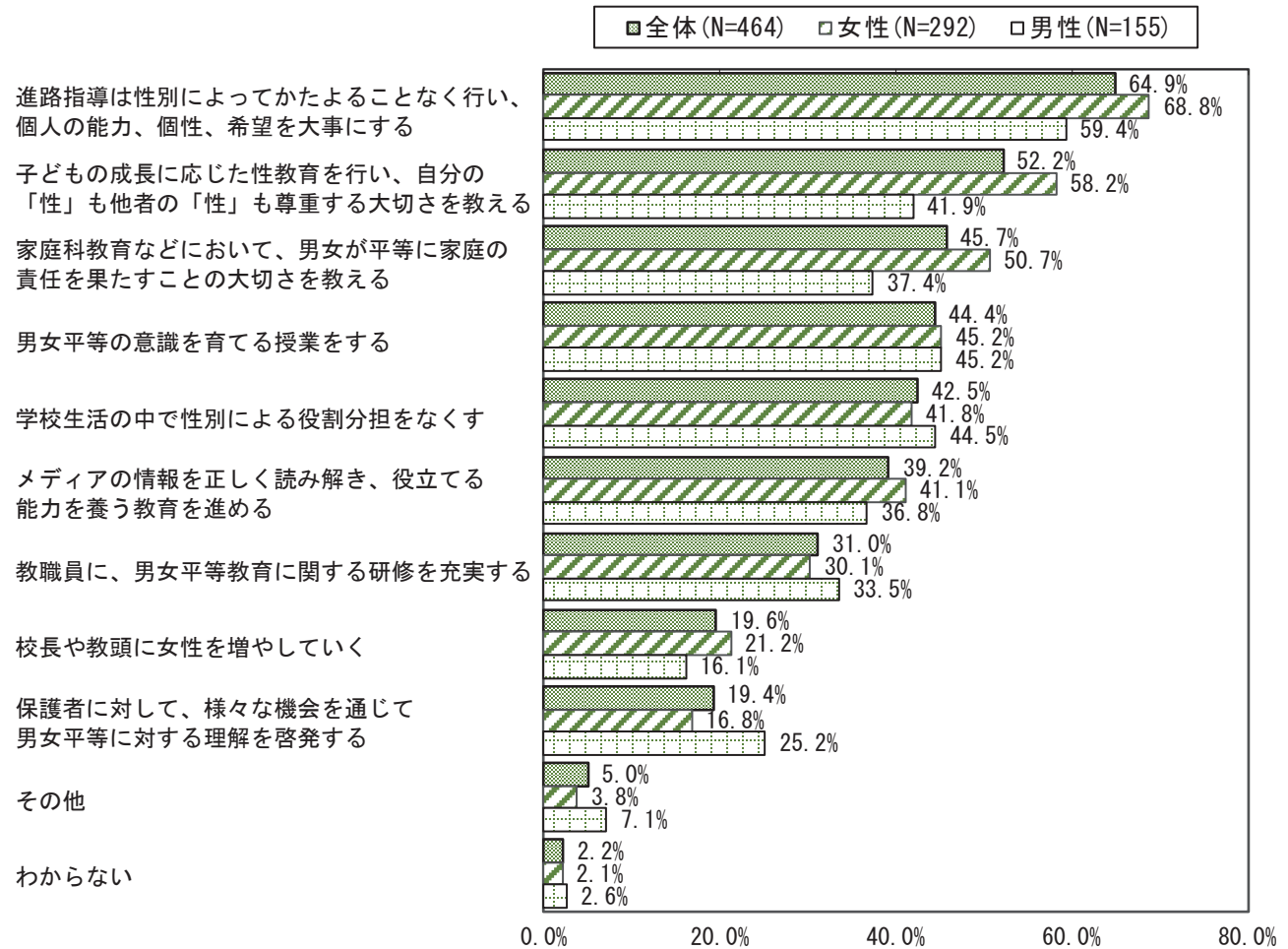
- 「学校教育の場で」を除いて男性優遇と感じる人が多く、特に「(5) 政治の場で」「(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで」が多くなっています。
- 「(8) 全体として」では男性優遇と感じる人が70.9%となっています。



子どもの教育について

男女平等を進めるために、小中学校でどのような取組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

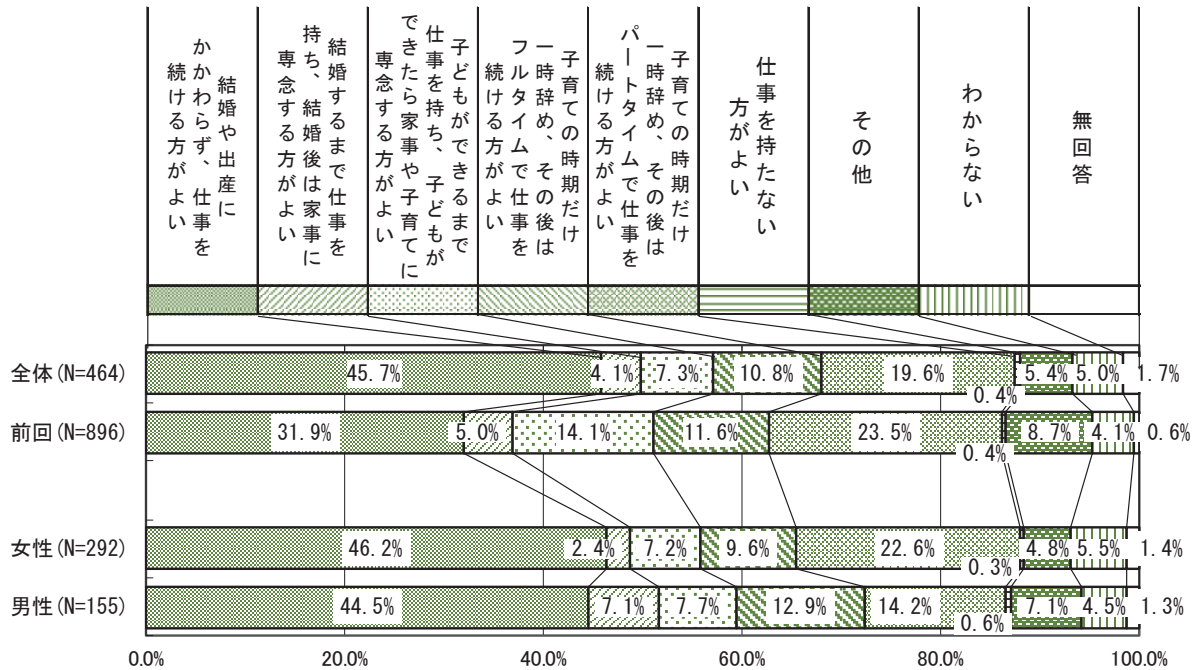
- 「進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする」が最も多く、次いで女性では「子どもの成長に応じた性教育を行い、自分の「性」も他者の「性」も尊重する大切さを教える」、男性では「男女平等の意識を育てる授業をする」となっています。



働き方について

一般的に女性が仕事を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

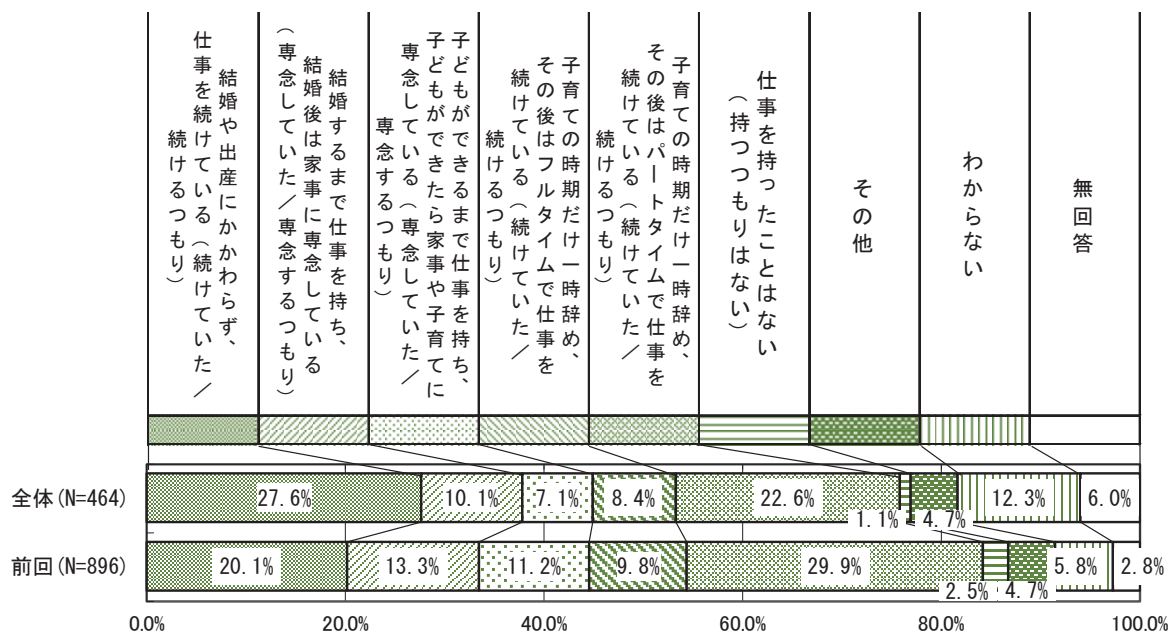
- 〇 女性が仕事を持つことについて、男女とも「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が最も多く、前回調査より大きく増加しています。



女性の方 → あなたの場合、実際の働き方は、どれにあたりますか。またはどのようにされるつもりですか。(〇は1つ)

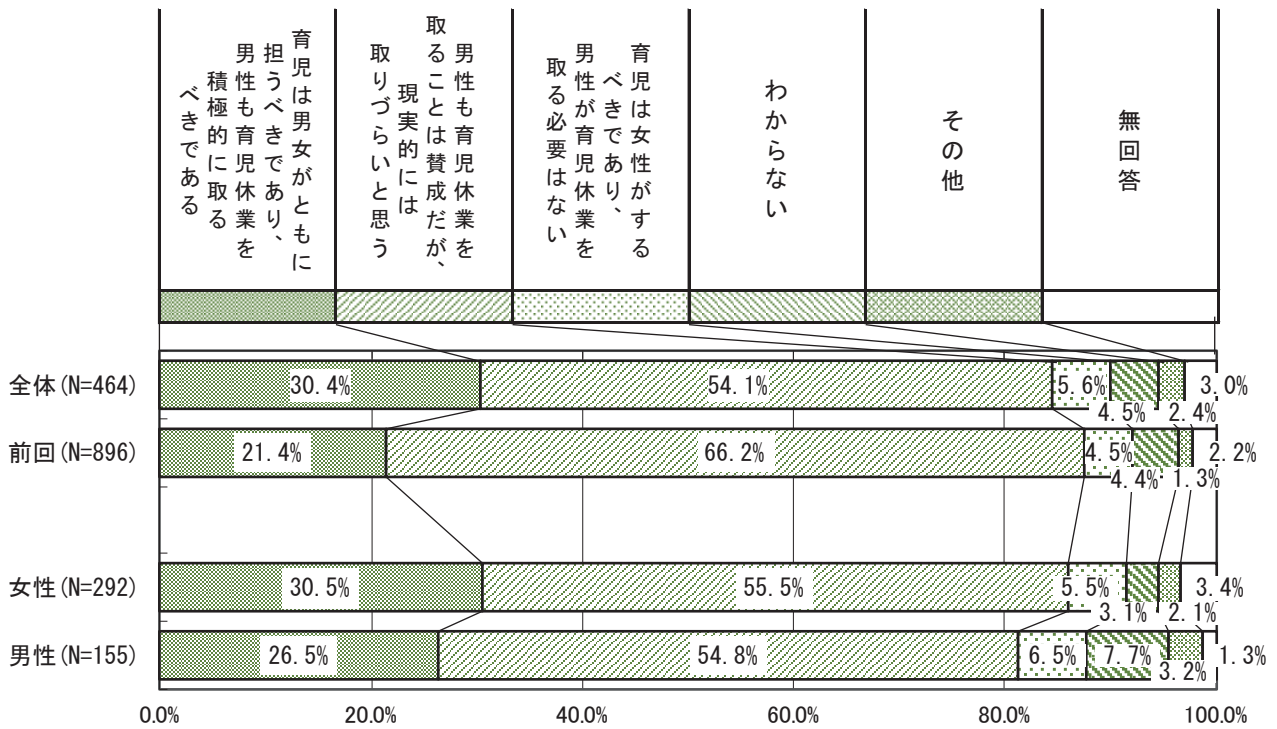
男性の方 → あなたの配偶者の場合、実際の働き方は、どれにあたりますか。またはどのようにされると思いますか。(〇は1つ)

- 〇 「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている (続けていた/続けるつもり)」が最も多く、前回調査より増加しています。



男性が、育児休業制度を活用することについてどう思いますか。(〇は1つ)

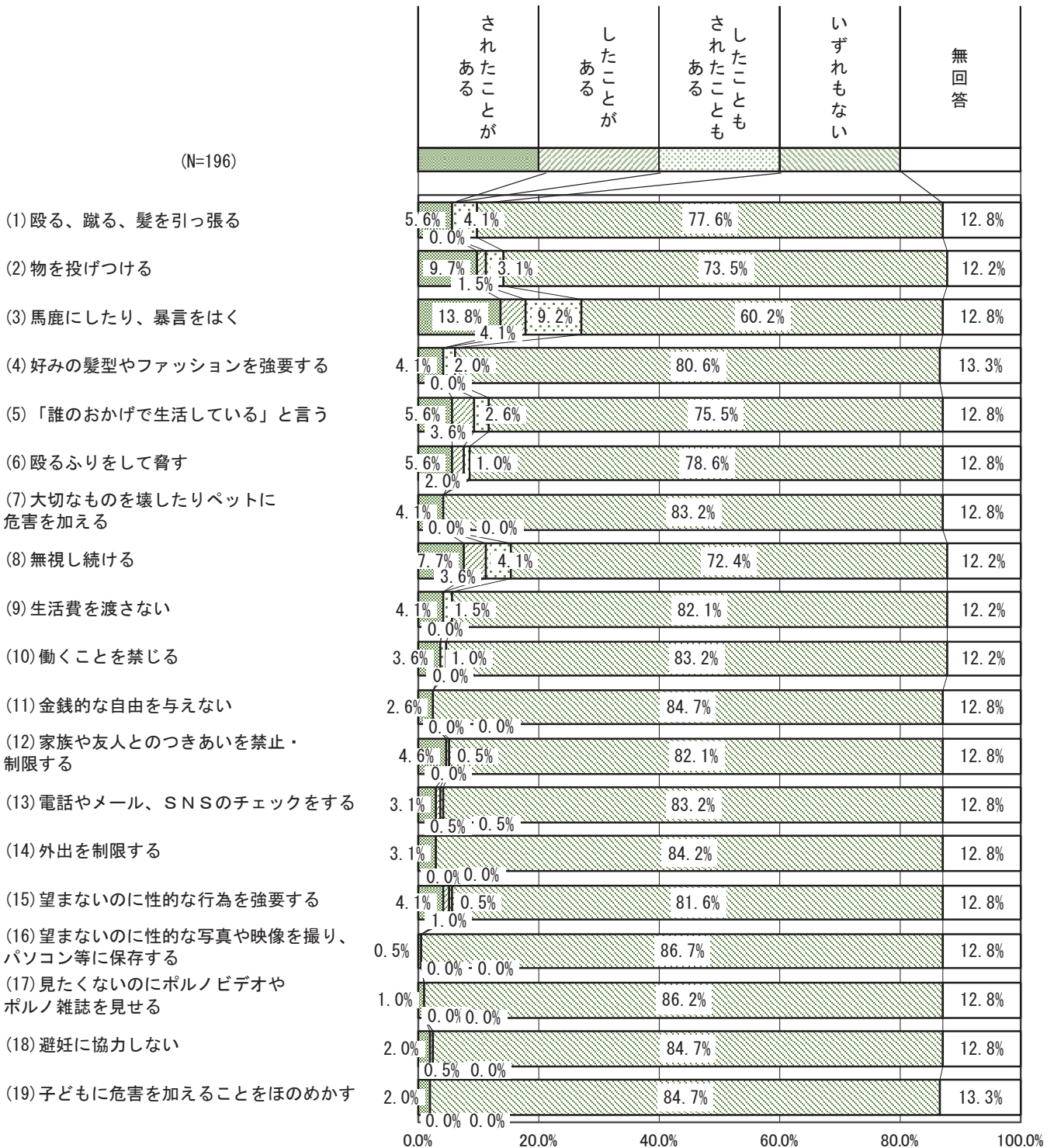
- 「男性も育児休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も多く、次いで「育児は男女がともに担うべきであり、男性も育児休業を積極的に取るべきである」、「育児は女性がするべきであり、男性が育児休業を取る必要はない」となっています。
- 「育児は男女がともに担うべきであり、男性も育児休業を積極的に取るべきである」は前回調査より増加しています。



男女の人権について

あなたは配偶者（事実婚や元配偶者を含む）との関係において、過去5年間で次のような経験がありますか。（1）～（19）について回答を1つずつ選び番号に○をつけてください。

○ DV（ドメスティック・バイオレンス）について、されたことがある暴力¹、したことがある暴力²ともに「馬鹿にしたり、暴言をはく」が最も多くなっています。



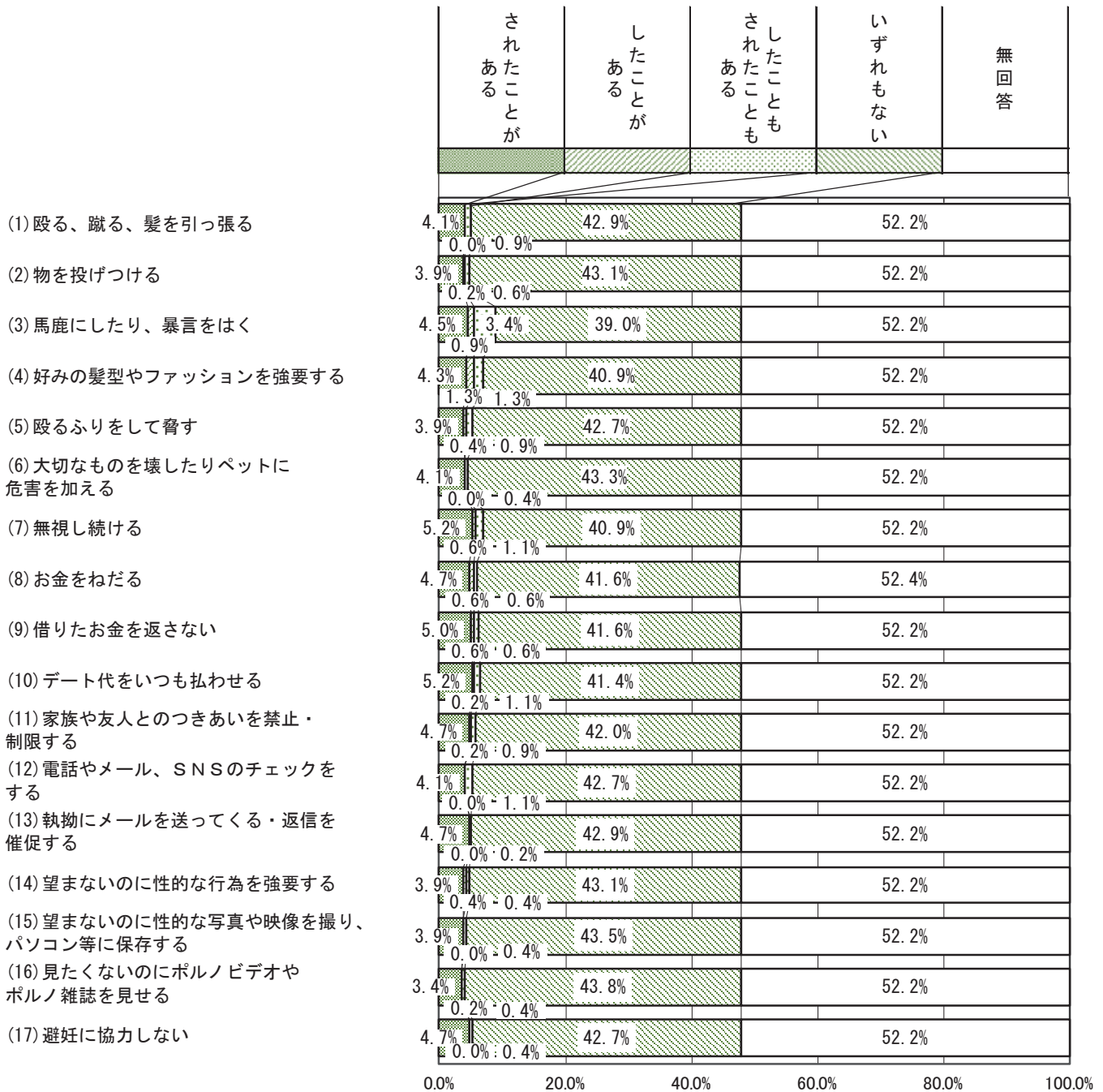
¹ 「されたことがある」と「したこともされたこともある」の合計

² 「したことがある」と「したこともされたこともある」の合計

あなたは恋人との関係において、過去5年間で次のようなことをしたり、されたことがありますか。

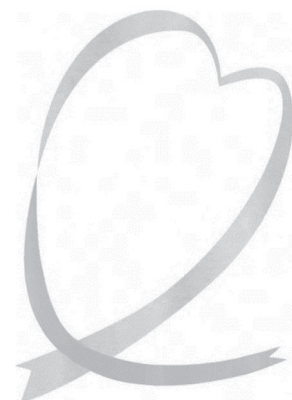
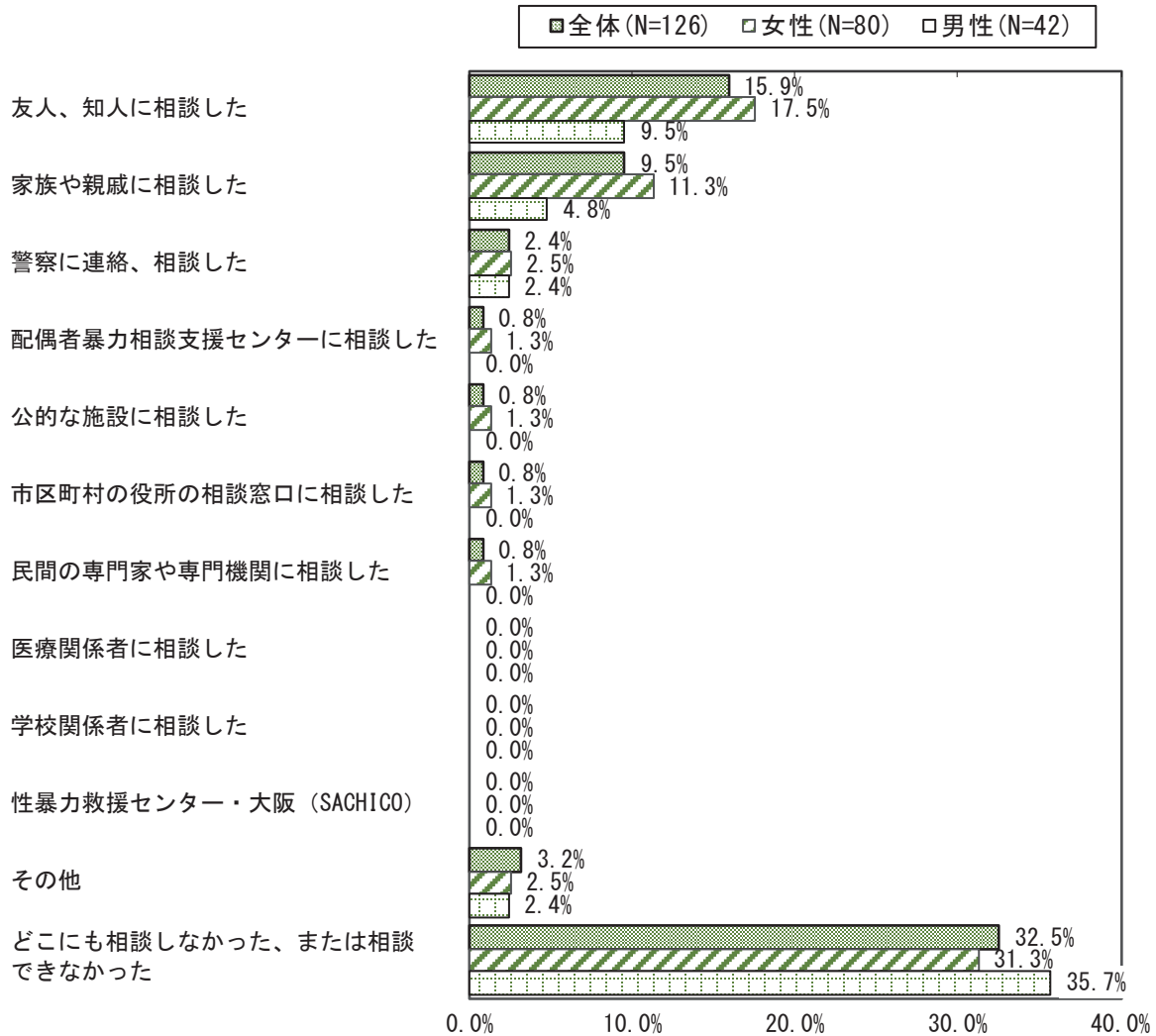
(1)～(17)について回答を1つずつ選び番号に○をつけてください。

○ デートDVについて、されたことがある暴力、したことがある暴力ともに「馬鹿にしたり、暴言をはく」が最も多くなっています。



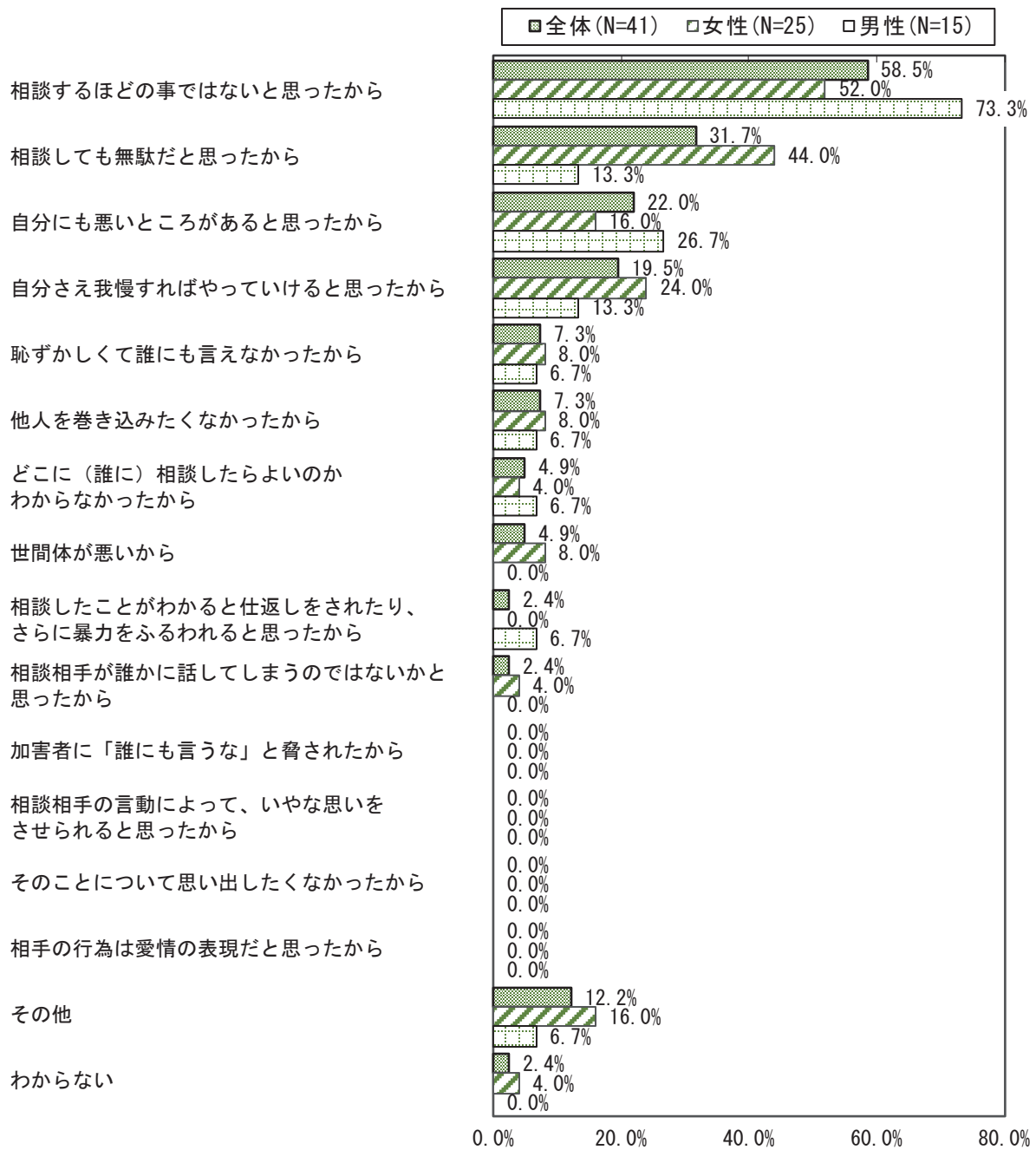
前問（7頁～8頁）で、「されたことがある」や「したこともされたこともある」と答えた方で、その後、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○はいくつでも）

- DVやデートDVの被害を「どこにも相談しなかった、または相談できなかった」は男女ともに3割以上となっており、男性のほうが多くなっています。



前問（9頁）で「どこにも相談しなかった、または相談できなかった」と答えた方で、どこにも相談しなかった、または、相談できなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）

○ DVやデートDVの被害をどこにも相談しなかった、または、相談できなかった理由は、男女ともに「相談するほどの事ではないと思ったから」が最も多く、男性では7割を超えています。



防災・災害復興対策について

防災・災害復興対策全般にわたって、男女共同参画の視点から、特に重要な取組みは何だと思いますか。(〇は3つまで)

- 防災・災害復興対策について男女共同参画の視点からみた重要な取組みについて、女性は「救援・復旧・復興段階での行政施策が、女性や高齢者、障害者等の介助が必要な社会的弱者らにとって利用しやすいものとなるよう配慮する」、男性は「男女共同参画の視点に配慮した避難所運営マニュアルを作成する」が最も多くなっています。

救援・復旧・復興段階での行政施策が、女性や高齢者、障害者等の介助が必要な社会的弱者らにとって利用しやすいものとなるよう配慮する

災害時であっても、働く女性たちが出勤・活躍できるように、保育所や高齢者の一時預かりなどの支援を絶やさない

男女共同参画の視点に配慮した避難所運営マニュアルを作成する

普段、地域にすることが多い女性や高齢者らに、自分や家族の身の安全を守る知識や技術が習得できる機会を増やす

市や地域の防災計画や災害時要支援者支援計画などを検討し、策定する場への女性の参画を増やす

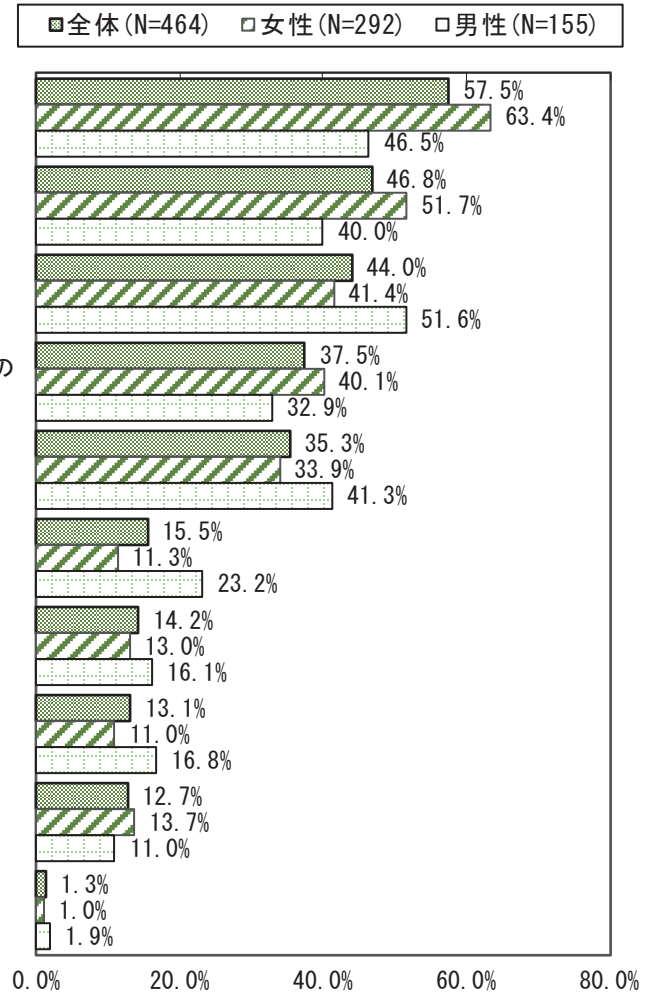
消防団や自主防災組織など、防災の現場における女性の参画を増やす

現在の防災の担い手向けに、男女共同参画に関する研修を行う

災害後の復興計画を検討、策定する場への女性の参画を増やす

防災や復興の知識を持ち、発言できる女性のリーダーを育てる研修を行う

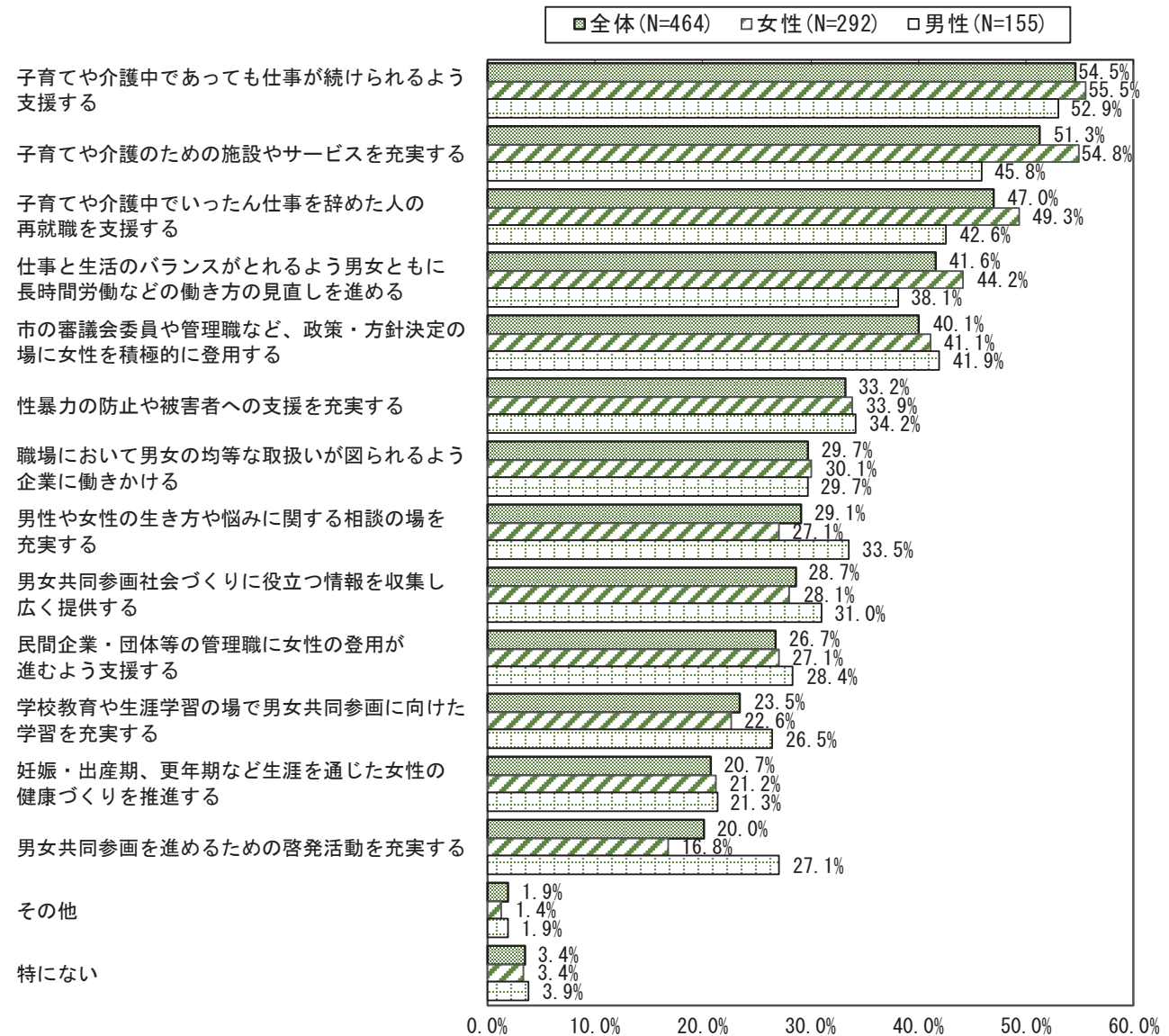
その他



男女共同参画社会について

あなたは、男女共同参画社会の実現をめざして、摂津市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

- 男女共同参画社会の実現をめざし、市が力を入れていくべきことについて、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が最も多く、次いで「子育てや介護のための施設やサービスを充実する」、「子育てや介護中でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」などの要望が多くなっています。



男女共同参画に関する市民意識調査報告書概要版

令和3（2021）年3月

摂津市 人権女性政策課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1番1号

TEL 06-6383-1324（直通）